

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス わんらいふ				公表日	2025年 5月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境体制・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1		訪問支援に使用する教具は、訪問先に依存する事が多い。	今後、必要に応じて随時揃える。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		1	利用希望を受けるが、対応しきれていない事がある。	今後、増員をする予定。職員配置ができる様に努力していく。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		1	一人では、行っているため不安が多く残る。	増員も含めて、他職員も積極的に興味関心を持って取り組める環境作りを模索します。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		1	保護者の意見をすぐに反映できる様に、記録を残す。	毎月のミーティングの際に、改善点の見直し、実施、見直しを継続して行う。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		1	定期的に管理者との面談出来る機会を設け、意見を聞けるよう努めている。	毎月のミーティングの際に、改善点の見直し、実施、見直しを継続して行う。また、個別でも困り感を聞ける様にしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	第三者による評価を行っていない。	今後、導入するか検討。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		1	研修の機会を作つてほしい。	今後、積極的に研修参加を促していきます。	
	8	個々のことごとにに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。		1	児童と保護者との面談等からの聞き取りを踏まえてアセスメントを取り、計画作成をしている。	引き続き、定期的なアセスメントを見直ししながら、支援計画の作成に努める。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		1	モニタリングを行い、アセスメントをもとに計画書作成をしている。	引き続き、支援計画書の情報共有を行う。	
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		1	作成前にモニタリングで訪問先と保護者と確認しながら、計画書作成にあたる様にしている。	引き続き、共通認識をもとに計画書作成にあたる。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		1	訪問先での困り感を共有する事はできたが、訪問する事で、改善までいたらなかった。	個別計画書を作成に当たり、訪問先と保護者とのすり合わせをしながら、短期間で達成可能な目標設定ができる様に検討する。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	いつでも各種記録が確認できる様にICT移行をすすめている。	引き続き、各種記録の確認が取れる様にする。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まながら、具体的な支援内容が設定されているか。		1	個別支援計画書において、各項目が設けられており支援内容が設けられている。	今後も定期的な見直しも含めて、ガイドラインに沿った計画書の作成に努める。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		1	いつでも支援計画書を確認しながら支援に当たれるようになっている。	今後も継続して、計画書に沿ったサービス提供に努める。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		1	訪問支援員が複数名いなため、該当していない。	増員した際には、役割分担を行いう。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	他職員への共有をするが、訪問員が一人のため他職員からの気付きや質問などは、少なく感じた	児発管や管理者との情報共有を行なながら、訪問員の増員をしてもらい、相談しながら支援できる環境作りを努力します。	
関係機関や保護者との連携	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		1	訪問先の都合や行事等を確認したうえで、日程調整をしている。訪問先での支援手法を尊重した上で、介入している。	引き続き、訪問する際に確認を怠らない様にすること。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。		1	前回の記録や確認事項を訪問記録として残すようになっている。	記録を確認しながら、検証や改善点を見出し訪問先と共に確認のもと支援する。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		1	定期的なモニタリングを実施中。学校や保護者の希望があれば適宜モニタリング会議を行っている。	引き続き、定期的なモニタリングを実施しながら、計画の見直しを継続する。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことの状況をよく理解した者が参画しているか。		1	自発管または管理者が会議参加している。が、児童の状況把握ができていると判断した際は、他職員の参加もある。	引き続き、利用児童の状況把握を進めながら、会議参加を進める。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1	学校との連携を主にしている。	連携手段を模索していきます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		1	こども園との情報共有はできていたが、学校側とは共有不足があった。	今後も継続して、情報共有できる様に支援していきます。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		1	内部研修を主に行っている。	今後は、外部研修への参加や、専門職からのアドバイス等を組み込める仕組み作りを行う。	
（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	24	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1	令和6年度は参加率が低かったので、次年度と参加率を上げられるようにする。	次年度は、情報収集をしながら積極的に地域の会議へも参加をすすめる。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		1	引継ぎや都度、訪問後の翌日までに報告出来る様にしている。	共通理解を深められるよう保護者との連携をこれまで以上にとれる様にする。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1	自事業所からの家族支援プログラムの案内が少ない。研修等があれば、案内をする。	ペアレント・トレーニングが出来る様に研修の機会を検討する。職員のスキルアップも一緒に図る。	

保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	基本、利用契約時に説明を実施。負担額の変更等があれば、都度説明している。	今後も継続して、丁寧な説明に努める。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	初回訪問前や新年度になり、担当する先生等が変わった際には、都度挨拶と説明をしている。	今後も説明をして理解を得てからの訪問する。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	計画書作成時には、本人からの聞き取りや保護者の意向をアセスメントをとり、計画書に反映するようにしている。	引き続き保護者と児童の意向を確認しながらサービス提供に努める。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	支援計画書を確認してもらい、同意を得ている。	引き続き、保護者への説明・同意を得ていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	悩みや相談があった際には、随時面談の機会を設けて、話を聞いて助言が出来る様にしている。	今後も継続して、保護者に寄り添った対応を継続する。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	令和6年中は、実施実績なし。	保護者会等の実施検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	苦情や相談があった際には、迅速に対応するよう心がけている。	今後も、苦情相談窓口の確認・周知を保護者や児童に伝えていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	発信力不足を感じている。積極的にイベントの様子を発信できる様に努める。	広報誌（紙媒体）からHPを活用した広報方法へ切り替え予定。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	情報流出に留意している。鍵付き書庫やネットセキュリティー実施中。	引き続き、十分に注意して情報を取り扱う。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	保護者や児童の対しての理解を職員で共有している。間違えた情報伝達が内容に配慮している。	引き続き、配慮を怠らない様にする。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	訪問した先で、相談があれば都度対応している。即答が出来ない事があれば、事業所内で確認してから返答する様にしている。	引き続き、訪問先との連携を密に取れる様に
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	訪問直後や日程設定してから行う様にしている。	引き続き、訪問した効果を確認し、共通理解をもつようとする。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	訪問実施後に、記録と共に保護者へ説明しながら記録を渡すようにしている。	引き続き、訪問時の記録共有できるように努める。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	情報流出に留意している。鍵付き書庫やネットセキュリティー実施中。	引き続き、十分に注意して情報を取り扱う。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	信頼関係を築ける様に、相談があった際には迅速に対応するようにしている。	今後も、必要に応じて対応できる様に体制づくりに努める。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	各種マニュアルを策定し、職員に周知している。	各種マニュアルを常時開示できる様な体制作りを構築する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	マニュアルを作成し、定期的に安全確認を行っている。	安全管理に必要な研修を積極的に受講し、職員意周知出来る様に再度見直す。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	ヒヤリハットを事業所内ですぐに共有・検証・対策をし、事故に繋がらない様にしている。	ヒヤリハットの共有を継続して、対策の見直しを定期的に実施していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	虐待防止委員会を中心に、研修を定期的に実施。	研修の機会を定期的に設けられるようになっているが、外部研修も含めて今後も継続してきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	勉強会を定期的に開催し、身体拘束にあたりかねないケースを職員で検討をしている。身体拘束対象の児童なし。	研修の機会を定期的に設けられるようになっているが、外部研修も含めて今後も継続してきます。